



～不思議！月の誕生のお話～

台風が2個通り過ぎて、やっと秋めいてきました。マスクが外せない酷暑でしたが、やっと9月らしく、お月様も綺麗に見えております。さて、このお月さま、もっとも地球に近くにあり馴染み深い存在ながら、60年代にアポロが月面着陸して以来研究が進んだとはいえ、まだまだ分からないことだらけのようです。

月の誕生には諸説あり、

- ① 地球とは違ったところから飛んできて地球に捕捉されたという捕獲説（引力で捕らえたとすると月は地球の潮汐力で破壊されてしまうのであり得ない）
- ② 地球から飛び出して月はできたという説（硬い地球から分裂するには地球の自転速度が非常に早くなければ無理、月の石の方がはるかに古い時代の岩石がある点を説明できない）
- ③ 巨大衝突説・・・地球直後に火星ほどの大きな天体が衝突して、その両方から飛び散ったモノが集積されて月になったという説（こうしてできた天体は、母星の数千分の一の大きさなのに、地球の81分の一という月は余りにも大きすぎる）

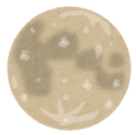
軌道が真円を描き、地球から見れば太陽と月の大きさはほぼ同じ。地球から太陽までの距離が月までの距離のほぼ400倍であり、太陽の直径が月の直径の400倍という偶然によって、皆既日食や金冠日食がおこります。月の表面は無数のクレーターでボコボコですが、衝突した隕石の4・5倍の深さの穴が開くはずが月のクレーターはその直径にかかわらず6キロくらいの深さばかりで、これも大きな謎とされています。

地球の年齢は約45億年とされていますが、月の岩石の成分分析では53億年前のものという調査結果が出ています。中には200億年前の岩石さえも見つかっており、月は太陽系よりもはるかに古い時期のものか？という疑問もあります。月の成分には、チタニウムという物質が地球の10倍、ウラン236やネプツニウム237が自然に生成されることは考えられないそうです。

アポロ計画では人工地震を起こさせて信号パターンを分析した結果、月の密度は地球に比較して明らかに小さく、月はその中身はスカスカなのか？まるで空洞の鐘を叩いた時と同様であったという分析結果になっており、これも大きな謎となっていました。

こうして正統派の学者を困惑させるばかりの月なのですが、旧ソ連の学者たちによって、

④ 月は地球外生命体による創造物か？



という説が発表されています（1970年代）。太陽系以外の場所に超高度な文明を持つ生命体が存在する惑星があったが、絶滅の危機に瀕したために、お手頃の惑星をくり抜いて巨大宇宙船に改造して長い旅に出た。地球と出会ってその隣に宇宙船を配置させたという説です。計算されたかのような太陽と月と地球の配置、月の自転と公転が一致しているのも、計算されつくしたかのようなものであり、だから地球からはいつも同じ月面しか見れずに月の裏を見ることはできない状態です。この突飛な説からすると従来の謎はどんどんと解決してしまうことになるようで

第一の外郭は表面の岩石5キロほどで宇宙船の塗装みたいなもので、その中に第二外郭が金属の船体が存在しており、この間に43キロメートルの空洞分があり、生命維持用のガスが蓄えられているというのです。そしてその構造からした月の存在意義は、地球外生命体による地球の監視というのですが…。

UFOが月の裏側から飛んでくるとい話は様々語られていますが、来年にはアメリカ国防省から長年にわたるUFO情報が開示されるという事が決まっているようです。はたして月はUFOの超巨大宇宙船なのか…。スターウォーズのデススターみたいな話ですが、こんなに近くに生命体があって、好戦的でないというならばラッキーなことです。



アンケートにお答えいただきありがとうございます。

残暑のなかにも、ほのかな秋の気配が感じられる季節となりました。日頃より松前屋をご愛顧いただきましてありがとうございます。アンケートには多くのご回答を頂戴いたしましたこと、心より御礼申し上げます。頂戴いたしましたお声を一部ご紹介させていただきます。

まずは、松前屋の好きな商品ランキングです。

第1位から3位まで全て汐吹き昆布が選出されました。昆布の味をわかっている松前屋のお客様ならではの選出ですね。1位が「お徳用」だったので、少し焦りましたが、第2位に看板商品「とこわか」を選んでいただき、ほっといたしました。厳選された真昆布だけを使用し、職人が丁寧に炊き上げる手間がかかった商品ですので、面目が保たれました…。ありがとうございます。

第3位に選ばれた「梅短冊昆布」は、実は「磯しぎ」に梅を加えただけなんです。梅を加えるだけで、お客様の心を捉えられるなんて、「してやったり」と思わず笑みがこぼれてしまいます。



お客様のご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 小分けになった商品がほしい。⇒たくさん食べていただきたいんです！
- 「みじん昆布」と「みじん椎茸」を復活してほしい。
⇒お客様の声を聞いてしまいました。「みじん椎茸」は今回のキャンペーン限定で見事復活です。
- パリポの袋をチャック袋にしてほしい。⇒一気に食べてしまうくらい美味しいと思います。
- 東京にお店がなくなってしまい、残念です。⇒通販だったらたくさん買っても大丈夫！家まで直送です。
- 母が「とこわか」を大好きでした。いつまでもこの味を残してほしい。⇒あなたも好きになってください。
- 他社とは昆布の質の違いを感じます。⇒さすが、わかっているじゃない！

健康法師(尼さん)の独り言パート 101

繋がりが続ける暮らしに『ド』ハマり中☆

海やプールに行けず、夏らしいことを何もしま、いつの間にか秋の虫の声が聴こえるようになりました。個人的に一番好きな季節である夏の終わりを感ぜると例年ならば、「うつつ」とした気持ちになっていたので、今年はなんだか違います。コロナ禍において、家族や友人と対面で会うことが減り、電話やオンラインでのコミュニケーションが以前より頻繁になったように感じます。つい最近も、オンラインで友人と6時間以上の会話を経験して、巷でいう“オンライン同棲”なる言葉も違和感なく受け入れられるのでは？という境地になります。会話といえども話すことに重点を置くわけではなく、食事に加えて家事や育児の時間の『空気感を共有』するといふものなので、一人暮らしの何気ない日常が思い出に残せる時代だと、窮屈なコロナ禍のなかで発見してしまっただけです。

「よっ」と肩に手をかけてする挨拶も、電車や飛行機に乗って見る景色も、美味しいねっと食事を楽しむ時間も何物にも代えがたいものではありますが、コロナでお出かけしづらい中でも、気心知れた関係の人と日常において繋がることのできる…。ボタン一つをポチッと押せば即終了で、帰り道の苦痛もなくそのまま御寝ね。未体験の方はぜひオンラインコミュニケーションを一度お試しください♪



編集後記

皆さま、今回の通信はいかがでしたでしょうか。都市伝説のような月の誕生説は不思議かつロマンのある話ですね。UFO 情報開示が楽しみです。 松村

